

# 令和3年度 部の運営方針書

健康医療部

## 1 部の運営方針

### 【部の使命】

市民の誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるように、健康寿命の延伸や、地域医療の確保及び救急医療の充実を図ります。あわせて、国民健康保険及び後期高齢者医療制度の適正かつ安定的な運営、及び国民年金関係の的確な各種申請や相談の受付を行います。

### 【部の目標】

- ①新型コロナウイルス感染症発症予防のため、市民への新型コロナウイルスワクチンの接種を可能な限り迅速かつ的確に実施します。
- ②新型インフルエンザ等感染症(新型コロナウイルス感染症)をはじめとする感染症対策の充実に取り組みます。
- ③診療所の利用状況や地域の実情を分析し、中山間地域や離島の医療提供体制の安定確保に向けた今後の運営体制を検討します。
- ④「周南市立新南陽市民病院新改革プラン(第2期)」等に基づき収入の確保及び経費削減を図り、病院事業会計及び介護老人保健施設事業会計の経営健全化を図ります。
- ⑤国民健康保険基金の有効な活用と、保有額の適正水準について検討します。

### 【働き方改革による業務改善等の取組み】

業務の内容や、やり方の見直しにより効率化を図り、計画的な有給休暇の取得やノー残業デーの実施に取り組みます。

## 2 部の経営資源

### (1) 部の体制

職員数	71.6 人	うち	正職員	56 人	・	会計年度 任用職員	15.6 人	人件費	正職員	406,616 千円	会計年度 任用職員	30,013 千円
-----	--------	----	-----	------	---	--------------	--------	-----	-----	------------	--------------	-----------

※R1職員平均給与( 7,261 千円)ベース

※予算計上額

### (2) 事業規模

歳入予算額	20,209,907 千円	歳出予算額	23,660,795 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算小事業数	76 事業	担当課数	4 課
-------	---------------	-------	---------------	-------------	----------	-------	------	-----

## 3 部の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	5 福祉・健康・医療 4 健康づくりの推進 4 感染症対策の充実 (地域医療課)	新型コロナウイルス感染症発症予防のため、市民への新型コロナウイルスワクチンの接種を可能な限り迅速かつ的確に実施します。
2	5 福祉・健康・医療 4 健康づくりの推進 4 感染症対策の充実 (健康づくり推進課)	新型インフルエンザ等(新型コロナウイルス感染症)の感染予防及び拡大防止に努めます。また、風しんの抗体検査及び第5期定期接種並びに風しん等予防接種費助成事業を実施します。
3	5 福祉・健康・医療 5 地域医療の充実 1 地域医療体制の充実 (地域医療課)	地域住民が健やかで快適に暮らすためには医療の充実が最も重要であることから、医師会、医療機関、大学等との連携を深め、安心して医療サービスを受けられる地域医療提供体制の充実を図ります。
4	5 福祉・健康・医療 5 地域医療の充実 1 地域医療体制の充実 (病院管理室)	他の医療機関との機能分担や連携を進め、周南西部地域の中核的医療施設として、医療機器・施設の充実を始め、常勤医師の確保に努めながら収支改善を目指し、良質な医療を安定・継続的に提供します。
5	5 福祉・健康・医療 4 健康づくりの推進 1 健康寿命を延ばす健康づくりの推進 (健康づくり推進課)	市民が自発的かつ積極的に健康の維持増進に取り組むことを目的に、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に取り組める「しゅうなんスマートライフチャレンジ」を実施し、地域全体に健康づくりの輪を広げていきます。(健康教育受講者数:10,000人)
6	9 都市経営 3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進 3 健全な財政運営 (保険年金課)	基金の有効活用及び医療費適正化への取り組みにより、持続可能で健全な国保財政とします。 (目標 インセンティブ措置に係る補助金の獲得)
7	5 福祉・健康・医療 4 健康づくりの推進 2 特定健康診査・がん検診の推進 (健康づくり推進課・保険年金課)	がん検診の周知とともに、受診しやすい体制整備を図ります。 特定健康診査の受診推進により生活習慣病の予防を図ります。(目標 特定健診受診率:50%)